

第3回震災予防講演会

## 関東大震災と富士山噴火

— 目立たぬ神奈川の災害要因 —

主催 一般社団法人日本地震工学会

後援：日本地震学会、土木学会、日本建築学会、地盤工学会、日本機械学会、  
日本火山学会、歴史地震研究会

関東大震災は揺れ、火災、津波、そして土砂災害と大きな爪痕を神奈川県に残しました。中でも山間部だけの問題だと思われがちな土砂災害は都市部でも起こり、急傾斜地の多い地域では当時に勝る脅威となっていることに気づいている人はそう多くはありません。地震だけではありません。富士山も神奈川県に大きな土砂災害を引き起こす要因です。この種の土砂災害は一度起こると豪雨のたびに再発し後遺症が何年も続きます。本講演では、まずは90年前の関東大震災、そして300年余り前の富士山宝永噴火で何が起こったのかを知ってもらおう。そして最後にあなたの家の裏山に潜む危険性に目を向けて、それらとどう向き合えばいいのかについて考えることにしましょう。昨年の3.11以降、神奈川県でも津波が注目の的になっていますが、本当に怖いのは津波だけじゃないことがよく分かっていただけだと思います。

日時：2013年2月8日（金）13:00～16:30

場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場  
（横浜市西区みなとみらい1-1-1）

### 1. プログラム：13:00～16:30

司会 平井俊之（講演会企画部会・(株)ニュージェック）

13:00-13:05 開会挨拶 川島一彦（日本地震工学会会長・東京工業大学）

13:05-13:55 関東大震災90周年を迎えて：知られざる土砂災害の恐怖とは？

武村雅之（名古屋大学減災連携研究センター）

13:55-14:45 富士山の噴火が神奈川県に及ぼす影響：昔何が起こり、今何が起こるか？

安養寺信夫（(財)砂防・地すべり技術センター・総合防災部）

14:45-15:00 一休 憩—

15:00-15:50 横浜・横須賀の地形と土砂災害：あなたの家の裏山は大丈夫？

高須是樹（日本ミクニヤ（株）東京支社）

15:50-16:30 全体の質疑

### 2. 資料代：1,000円（当日引換）

### 3. 定員：150名（先着順）

### 4. 申込方法

- (1) 参加の方は、「第3回震災予防講演会」として、氏名、勤務先（参加者が2名以上の場合それぞれのお名前）連絡先住所、電話番号、メールを明記して、メールまたはFAXのいずれかでお申込みください。
- (2) 参加証はメールまたはFAXにてお送りいたします。
- (3) 当日、参加証を持参の上、資料と引き換えてください。

### 5. 申込み・問合せ先：日本地震工学会事務局

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館  
電話 (03) 5730-2831、FAX (03) 5730-2830  
メールアドレス：office@general.jaee.gr.jp